

Applicant Guidelines

Graduate School of Education
Master's Program / Professional Degree Program

令和9（2027）年度 学生募集要項

兵庫教育大学大学院
学校教育研究科
修士課程
専門職学位課程（教職大学院）

選抜区分	出願期間【必着】	オンライン接続チェック	試験日	合格者発表	入学手続期間
8月選抜	令和8年 7月1日（水）～ 7月8日（水）	令和8年 8月3日（月）～ 8月5日（水）のうち、 大学が指定した日時	令和8年 8月22日（土）	令和8年 9月4日（金） 午前10時	令和8年 12月14日（月）～ 12月18日（金）
11月選抜	令和8年 10月7日（水）～ 10月14日（水）	令和8年 11月10日（火）～ 11月12日（木）のうち、 大学が指定した日時	令和8年 11月21日（土）	令和8年 12月4日（金） 午前10時	
2月選抜	令和9年 1月21日（木）～ 1月27日（水）	令和9年 2月12日（金）、15日（月）、 16日（火）のうち、 大学が指定した日時	令和9年 2月27日（土）	令和9年 3月12日（金） 午前10時	令和9年 3月16日（火）～ 3月22日（月）

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

大学院学校教育研究科

兵庫教育大学大学院学校教育研究科は、教員をはじめとした学校教育に関わる教育専門職の資質能力の向上に対する社会的要請に応えるため、専攻・コースの求める人物像に基づいて、現職教員等に対する高度な専門性と実践的指導力の育成から、実践力に優れた新人教員の養成まで、キャリアステージに応じた高度な研究、研鑽の機会を確保し、学校現場に密接に関連した実践的な教育研究を行うことを基本的な目的としています。

修士課程

1. 目的

学校教育研究科（修士課程）は、学校教育に関する実践的な教育研究を推進することにより、教員等に対する高度な専門性と実践的指導力の育成から、実践力に優れた新人教員の養成まで、キャリアステージに応じた学校教育に関わる教育専門職を育成することを目的としています。

2. 求める人物像

教育にたずさわることへの使命感と熱意をもち、自らの資質能力の向上を志向する教員等や、高い専門性と実践力をもった初等・中等教育教員等になることを強く志向する人

3. 入学者選抜の基本方針

本学が定めるディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」を多面的・総合的に評価し、専門性及び適性に優れた人を選抜します。

【人間発達教育専攻】

1. 目的

人間発達教育専攻は、今日の多様化する学校教育の諸課題を踏まえ、教育学、心理学をはじめとする関連諸科学を基盤に、学校教育を核として生涯発達や家庭や地域との連携の視点を含んだ人間の発達教育に関する総合的な教育研究を推進することにより、教員等に対する高度な専門性と実践的指導力の育成から、実践力に優れた新人教員の養成まで、キャリアステージに応じた学校教育に関わる教育専門職を育成することを目的としています。

2. 求める人物像

教育学、心理学をはじめとする関連諸科学の基礎的知識を有し、高度な理論と実践的能力及び教育的指導力を高めようとする意欲がある人

3. 入学前に学習しておくことが期待される内容

教育学、心理学をはじめとする関連諸科学の基礎となる知識や技能

【特別支援教育専攻】

1. 目的

特別支援教育専攻は、障害のある児童生徒に対する支援力が身に付くよう、障害児の発達とその特性の理解に基づいた支援を目指し、障害児の教育、心理、生理と病理、指導法の教育研究を行うことにより、高い専門性と実践力を発揮することができる教育実践者の育成を行います。また、発達障害児を支援するための個別的指導、通常学級での授業の工夫、特別支援教育コーディネーター活動など実践的な教育研究を推進することにより、教員等に対する高度な専門性と実践的指導力の育成から、実践力に優れた新人教員の養成まで、キャリアステージに応じた学校教育に関わる教育専門職を育成することを目的としています。

2. 求める人物像

特別支援教育の関連諸科学の基礎的知識を有し、高度な理論と実践的能力及び教育的指導力を高めようとする意欲がある人

3. 入学前に学習しておくことが期待される内容

特別支援教育の関連諸科学の基礎となる知識や技能

専門職学位課程〔教職大学院〕

〔教育実践高度化専攻〕

1. 目的

学校教育研究科（専門職学位課程）は、高度の専門性が求められる教職を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、学校現場における実践力や応用力などの資質能力を身に付けた指導的教員から、学校づくりの有力な一員となり得る新人教員の養成まで、キャリアステージに応じた学校教育に関わる教育専門職を養成することを目的としています。

2. 求める人物像

- ・地域や学校における指導的役割を果たし得る教員等として不可欠な確かな指導理論、及び優れた実践力や応用力を備えたスクールリーダーになることを志向する教職経験者
- ・学部段階で修得した資質能力に加え、新しい学校づくりの有力な一員となり得るより実践的な指導力を備えた教員を志向する人
- ・日本以外の国・地域で修得した資質能力を基盤として、日本型教育を学び、広く教育の向上に貢献することを志向する人

3. 入学者選抜の基本方針

本学が定めるディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」を多面的・総合的に評価し、専門性及び適性に優れた人を選抜します。

4. 入学前に学習しておくことが期待される内容

【教職経験者】

地域や学校における教育活動に関する専門的な知識、技能及び実践的指導力

【教職経験者以外】

学校教育に関して、基礎となる知識や技能

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報、入学者選抜のほか、入学手続業務、入学料等免除の選考及び奨学金貸与の選考に使用し、これ以外の目的に用いることはありません。

ただし、個人を特定しない形で統計的な調査に使用する場合があります。

入学者選抜関係日程一覧

選抜区分	出願期間【必着】	オンライン接続チェック	試験日 ^(注1)	合格者発表
8月選抜 ^(注2)	令和8年 7月1日(水)～ 7月8日(水)	令和8年 8月3日(月)～ 8月5日(水)のうち、 大学が指定した日時	令和8年 8月22日(土) ^(注3)	令和8年 9月4日(金) 午前10時
11月選抜	令和8年 10月7日(水)～ 10月14日(水)	令和8年 11月10日(火)～ 11月12日(木)のうち、 大学が指定した日時	令和8年 11月21日(土) ^(注4)	令和8年 12月4日(金) 午前10時
2月選抜 ^(注5)	令和9年 1月21日(木)～ 1月27日(水)	令和9年 2月12日(金)、15日(月)、 16日(火)のうち、 大学が指定した日時	令和9年 2月27日(土)	令和9年 3月12日(金) 午前10時

(注1) 本学の通信環境の不具合等により試験を中止した場合、予備日に試験を実施することがあります。なお、予備日及び予備日に試験を実施した場合の合格者発表は次のとおりです。

選抜区分	予備日	予備日に試験を実施した場合の合格者発表
8月選抜	令和8年8月29日(土)、30日(日)	令和8年9月11日(金)午前10時
11月選抜	令和8年11月28日(土)、29日(日)	令和8年12月11日(金)午前10時
2月選抜	令和9年3月6日(土)	令和9年3月12日(金)午前10時

(注2) 8月選抜では、臨床心理学コース(フレックスクラス)及び障害科学コース(フレックスクラス)は募集を行いません。

(注3) 志願者数により、一部受験者は8月23日(日)に試験を行う場合があります。

(注4) 志願者数により、一部受験者は11月22日(日)に試験を行う場合があります。

(注5) 2月選抜では、臨床心理学コースは募集を行いません。

(オンライン接続チェックは、試験の一環として実施するので、オンライン接続チェックを欠席した)場合は試験日の口述試験(オンライン面接)は受験できません。

目 次

令和9年度兵庫教育大学大学院学校教育研究科（修士課程・専門職学位課程）学生募集要項

1	募集方法	1
2	専攻・コース別学生募集人員	1
3	標準修業年限	2
4	出願資格	2
5	出願資格に関する事前審査	3
6	出願要件	4
7	出願手続	7
8	第2志望の選択について	10
9	受験票のダウンロードについて	12
10	試験の日程	12
11	選抜方法	13
12	合格者の発表	21
13	入学手続	22
14	障害等のある入学志願者との事前相談	22
15	その他の留意事項	22
16	授業時間及び授業方法等	23
17	長期履修学生制度の利用	23
18	小中連携教育プログラム	23
19	理数系教員養成特別プログラム	25
20	ダブルディグリープログラム	26
21	国際貢献型留学生の募集について	28
22	学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための 設置に関する法律（令和6年法律第69号）について	28
23	過去の入学者選抜状況	29

1 募集方法

入学定員を3回の選抜試験（8月選抜、11月選抜及び2月選抜）に分割して募集します。8月・11月選抜で年間の募集人員に達したコース・分野においては、2月選抜での募集を行わないことがあります。なお、2月選抜実施後、定員に達していない場合は、追加募集を行うことがあります。

2 専攻・コース別学生募集人員

課程	専攻	コース	クラス ^(注1)	募集人員 ^(注2)				入学定員
				8月選抜	11月選抜	2月選抜	計	
修士課程	人間発達教育専攻	教育コミュニケーションコース	昼間クラス	7人	3人	若干人	10人	115人
			フレックスクラス					
		幼年教育・発達支援コース	昼間クラス	7人	3人	若干人	10人	
			フレックスクラス					
		学校心理・学校健康教育・発達支援コース	昼間クラス	10人	10人	若干人	20人	
			フレックスクラス					
	臨床心理学コース	昼間クラス	21人	11人	募集しない	40人		
		フレックスクラス						
	芸術表現系教育コース ^(注3)	昼間クラス	10人	5人	若干人	15人		
		フレックスクラス						
	生活・健康・情報系教育コース	昼間クラス	14人	6人	若干人	20人		
		フレックスクラス						
	特別支援教育専攻	障害科学コース	昼間クラス	15人	5人	若干人	20人	
フレックスクラス			(募集しない)					
発達障害支援実践コース		昼間クラス	8人	2人	若干人	10人		
小計				92人	53人		145人	145人
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	学校経営コース	昼間クラス	10人	5人	若干人	15人	155人
			フレックスクラス					
		教育方法・生徒指導マネジメントコース	昼間クラス	15人	10人	若干人	25人	
			フレックスクラス					
		言語系コース ^(注3) (国語・英語)	昼間クラス	12人	7人	若干人	19人	
			フレックスクラス					
		社会系コース	昼間クラス	10人	7人	若干人	17人	
			フレックスクラス					
		理数系コース ^(注3) (数学・理科)	昼間クラス	20人	若干人	若干人	20人	
			フレックスクラス					
		小学校教員養成特別コース (3年制コース)	昼間クラス	20人	10人	若干人	30人	
小学校教員養成特別コース (2年制コース)	昼間クラス	5人	若干人	若干人	5人			
グローバル教育リーダーコース	昼間クラス	7人	若干人	若干人	7人			
	フレックスクラス							
教育政策リーダーコース	フレックスクラス	7人	若干人	若干人	7人			
授業実践課題探究コース	フレックスクラス	7人	3人	若干人	10人			
小計				113人	42人		155人	155人
合計				205人	95人		300人	300人

修士課程・専門職学位課程の両課程において、留学生の募集を行います。

このうち専門職学位課程の教育方法・生徒指導マネジメントコース、言語系コース、社会系コース、理数系コース、グローバル教育リーダーコースでは、日本型教育を学び主に母国における教育の向上に貢献することを目指す留学生の方を、各選抜において若干人募集します。(国際貢献型留学生)

※詳細は、28ページをご覧ください。

(注1) 昼間クラス及びフレックスクラスのあるコースは昼夜開講制であり、昼間クラス(臨床心理学コース、教育方法・生徒指導マネジメントコース、小学校教員養成特別コース(3年制コース)を除く)は、兵庫教育大学加東キャンパス(加東市下久米)で対面及び遠隔・オンライン(同期型)による講義等を開講します。フレックスクラスは、主に兵庫教育大学神戸キャンパス(神戸市長田区)において、夜間に対面(土日等の集中講義含む)及び遠隔・オンライン(同期型)・オンデマンド(非同期型)による講義等を開講するクラスです。詳細は大学院案内をご参照ください。

※臨床心理学コース、教育方法・生徒指導マネジメントコース、小学校教員養成特別コース(3年制コース)の昼間クラスは、神戸キャンパスにおいて講義等を行います。

※教育政策リーダーコースは、学生の勤務地域又は神戸キャンパスにおいて講義等を行います。

なお、フレックスクラスでは、長期履修学生制度(23ページ参照)を利用することが可能です。

(注2) 11月選抜及び2月選抜において、募集人員に変更が生じた場合は、Webサイト(<https://www.hyogo-u.ac.jp/>)において公表します。

(注3) 芸術表現系教育コース、言語系コース及び理数系コースにおける合否の判定は、次の区分ごとに行います。

芸術表現系教育コース：音楽、美術

言語系コース：国語、英語

理数系コース：数学、理科

3 標準修業年限

2年(小学校教員養成特別コース(3年制コース)は長期在学制度を活用した3年)

4 出願資格

次の(1)から(9)のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者又は令和9年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は令和9年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者又は令和9年3月までに修了見込みの者^(注1)
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和9年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和9年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和9年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び修了見込みの者(平成17年文部科学省告示第169号参照)

- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）^(注2)
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの又は令和9年3月31日までに22歳に達するもの^(注3)

(注1) 大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者で、大学教育修了後、相当期間研究に従事し、かつ、22歳に達し、又は令和9年3月31日までに22歳に達するもので、本学大学院において我が国の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められたものは、出願することができます。

該当者は、兵庫教育大学入試課（TEL：0795-44-2067、E-mail：office-nyushi-t@ml.hyogo-u.ac.jp）へ連絡してください。

(注2) 文部科学大臣の指定した者に該当する者は、次に掲げる者等が該当します。

ア 大学を卒業していない者であって、教育職員免許法による幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は1種免許状を有する者又は令和9年3月31日までに取得見込みの者で、22歳に達したものの又は令和9年3月31日までに22歳に達するもの

イ 旧国立養護教諭養成所を卒業した者で、教育職員免許法による中学校教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は1種免許状を有するもの

ウ 旧国立工業教員養成所を卒業した者で、教育職員免許法による高等学校教諭免許状及び3年以上教員として良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有するもの

該当者は、兵庫教育大学入試課（TEL：0795-44-2067）へ連絡してください。

(注3) 個別の入学資格審査の対象となる者は、「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等の卒業者やその他の教育施設の修了者など大学卒業資格を有していない者」です。なお、これにより出願しようとする場合は、次の「5 出願資格に関する事前審査」により別途出願資格認定のための審査を受けなければならないので注意してください。

該当者は、兵庫教育大学入試課（TEL：0795-44-2067）へ連絡してください。

5 出願資格に関する事前審査 ※「4 出願資格」(1)~(8)に該当する方は審査不要です。

「4 出願資格 (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの又は令和9年3月31日までに22歳に達するもの」についての出願資格審査手続きは、次のとおりです。

なお、次の申請書類の他に、必要に応じて証明書等の提出を求める場合があります。

1. 申請書類

(1) 入学試験出願資格認定申請書（本学所定の用紙）^(注1)

(2) 履歴書（本学所定の用紙）

(3) 研究・実践研究希望等調書（本学所定の用紙）

(4) 卒業（修了）証明書及び成績証明書（短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等のもの）

(5) 在職期間証明書（各種の教育・研究機関等における3年^(注2)以上の証明がある場合）（本学所定の用紙）

(6) 教育職員免許状授与証明書（教育職員免許法による幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭、養護教諭又は栄養教諭の2種免許状を有する場合）

(7) その他証明書等（教育関係施設における5年以上の教育研究活動歴の証明、レポート又は作品等がある場合）

(注1) 入学試験出願資格認定申請書等の用紙は個別に配付しますので、申請する場合は兵庫教育大学入試課（TEL：0795-44-2067、E-mail：office-nyushi-t@ml.hyogo-u.ac.jp）へ連絡してください。

(注2) 教育政策リーダーコースについては10年以上

2. 申請方法

志願者は、申請書類を次の申請期間中に必着するよう「学校教育研究科出願資格認定申請書類在中」と朱書し、「書留」により郵送してください。

ア 申請期間【必着】

【8月選抜受験希望者】 令和8年6月3日（水）～6月5日（金）

【11月選抜受験希望者】 令和8年9月2日（水）～9月4日（金）

【2月選抜受験希望者】 令和8年12月9日（水）～12月11日（金）

イ 申請先

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1 兵庫教育大学入試課

3. 審査方法

出願資格認定審査は、申請書類の書類審査により行い、更に必要な場合は、口頭試問による審査を行います。

4. 審査結果の通知等

審査の結果は、それぞれ7月上旬（8月選抜）、10月上旬（11月選抜）、1月中旬（2月選抜）に本人へ通知します。

なお、出願資格認定が可となった場合、当該年度においては当該志望コースへの出願資格を有するものとします。

6 出願要件

次に掲げるコース・クラス等については、出願にあたって以下の要件を満たしている必要があります。

コ ー ス	出 願 要 件
臨床心理学コース (フレックスクラス)	次の(1)～(3)のいずれかに該当する者を募集します。 (1) 教職経験を有する者（養護教諭・特別支援学校教諭及び特別支援学級の担当教諭、司書教諭、栄養教諭を含む） ※教職の経験年数は問いません。また、9ページ（注3）で定める教職経験者に該当しない者でも、教職の経験がある者は出願が可能です。 〔提出書類：在職期間証明書（所定の用紙）〕 (2) 医療・保健、教育、福祉、産業・労働、司法領域において対人援助職の経験を有する者 〔提出書類：業務内容証明書（任意様式）。ただし、業務内容が法令等により規定されている国家公務員は、法令等を提出することで業務内容証明書に代えることができます。〕 (3) 心理支援関連資格を持ち、対人援助職の経験を有する者（産業カウンセラー、認定心理士、学校心理士、臨床発達心理士、ガイダンスカウンセラー） 〔提出書類：①心理支援関連の資格証明書の写し、②業務内容証明書（任意様式）〕 *上記(1)～(3)のいずれについても、勤務形態（常勤・非常勤の別）は問いません。
障害科学コース (フレックスクラス)	就学前教育・初等中等教育機関（特別支援学校を含む）で勤務する現職教員で、かつ、3年以上の教職経験を有する者を募集します。 ※教職経験を有する者の定義については、9ページ（注3）をご覧ください。
発達障害支援実践コース	次のいずれかの教員免許状取得済みの者又は令和9年3月までに取得見込みの者を募集します。 ・幼稚園教諭 ・小学校教諭 ・中学校教諭（教科は問わない） ・高等学校教諭（教科は問わない）
教育実践高度化専攻のコースのフレックスクラス (学校経営コース及び教育政策リーダーコースを除く)	5年以上の教職経験を有する者を募集します。 ※教職経験を有する者の定義については、9ページ（注3）をご覧ください。

コ ー ス	出 願 要 件						
学校経営コース	<p>出願時点において、学校教育法施行規則第20条に定める「教育に関する職」(学校事務職員や国・自治体の教育行政職員等を含む)を経験した者(経験年数は問いません)を募集します。</p> <p>なお、フレックスクラス志願者は、学校教育法施行規則第20条に定める「教育に関する職」を経験したことを申告する書類(所定の様式)を出願書類と併せて提出してください。</p>						
教育方法・生徒指導マネジメントコース 及び グローバル教育リーダーコース (注) フレックスクラス志願者はp.4のフレックスクラスの要件も満たしている必要があります。	<p>次のいずれかの教員免許状を取得済みの者又は令和9年3月までに取得見込みの者を募集します。(国際貢献型留学生(28ページ)の志願者を除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭 ・中学校教諭(教科は問わない) ・高等学校教諭(教科は問わない) 						
言語系コース(国語・英語) (注) フレックスクラス志願者はp.4のフレックスクラスの要件も満たしている必要があります。	<p>次のいずれかの教員免許状を取得済みの者又は令和9年3月までに取得見込みの者を募集します。(国際貢献型留学生(28ページ)の志願者を除く)</p> <table border="1" data-bbox="711 842 1273 1115"> <thead> <tr> <th>分 野</th> <th>教員免許状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国 語</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭 ・中学校教諭(国語) ・高等学校教諭(国語) </td> </tr> <tr> <td>英 語</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭 ・中学校教諭(英語) ・高等学校教諭(英語) </td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、言語系コース(国語)を志望し、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する者は、上述で定める中学校もしくは高等学校の教員免許状の教科を「国語」に限定することなく出願を可とします。</p> <p>(1) 次の(ア)～(ウ)のいずれかを満たし、かつ、日本語学校等の教育機関で日本語教育の実務経験が3年以上ある者^{*2}</p> <p>(ア) 現行の「日本語教育能力検定試験」に合格した者</p> <p>(イ) 日本語教育に関する研修であって適当と認められるものを420時間以上受講し、これを修了した者</p> <p>(ウ) 大学または大学院で日本語教育に関する科目の単位を26単位以上修得した者</p> <p>(2) 初等中等教育機関(特別支援学校を含む)において「日本語指導担当教員」の分掌に関わる者</p>	分 野	教員免許状	国 語	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭 ・中学校教諭(国語) ・高等学校教諭(国語) 	英 語	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭 ・中学校教諭(英語) ・高等学校教諭(英語)
分 野	教員免許状						
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭 ・中学校教諭(国語) ・高等学校教諭(国語) 						
英 語	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭 ・中学校教諭(英語) ・高等学校教諭(英語) 						
社会系コース (注) フレックスクラス志願者はp.4のフレックスクラスの要件も満たしている必要があります。	<p>次のいずれかの教員免許状を取得済みの者又は令和9年3月までに取得見込みの者を募集します。(国際貢献型留学生(28ページ)の志願者を除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭 ・中学校教諭(社会) ・高等学校教諭(地理歴史又は公民) 						

コ ー ス	出 願 要 件						
理数系コース（数学・理科） （注）フレックスクラス志願者はp.4のフレックスクラスの要件も満たしている必要があります。	<p>次のいずれかの教員免許状を取得済みの者又は令和9年3月までに取得見込みの者を募集します。</p> <table border="1" data-bbox="711 282 1273 555"> <thead> <tr> <th data-bbox="711 282 908 322">分 野</th> <th data-bbox="908 282 1273 322">教員免許状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="711 322 908 439">数 学</td> <td data-bbox="908 322 1273 439"> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭 ・中学校教諭（数学） ・高等学校教諭（数学） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="711 439 908 555">理 科</td> <td data-bbox="908 439 1273 555"> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭 ・中学校教諭（理科） ・高等学校教諭（理科） </td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、教員免許状を取得していない場合でも、理数系教員養成特別プログラムを併せて申請することで出願は可能ですが、入学に際しては理数系教員養成特別プログラムの選考を経て、受講を許可される必要があります。（国際貢献型留学生（28ページ）の志願者を除く）</p>	分 野	教員免許状	数 学	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭 ・中学校教諭（数学） ・高等学校教諭（数学） 	理 科	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭 ・中学校教諭（理科） ・高等学校教諭（理科）
分 野	教員免許状						
数 学	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭 ・中学校教諭（数学） ・高等学校教諭（数学） 						
理 科	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭 ・中学校教諭（理科） ・高等学校教諭（理科） 						
小学校教員養成特別コース（3年制コース）	大学卒業者（卒業見込みを含む）又は社会人で、小学校教諭の教員免許状を持たない者を募集します。						
小学校教員養成特別コース（2年制コース）	大学卒業者（卒業見込みを含む）又は社会人（現職派遣及び9ページ（注3）で定める教職経験者を除く）で、小学校教諭の教員免許状を取得済みの者又は令和9年3月までに取得見込みの者を募集します。						
教育政策リーダーコース	現に地方教育行政の職についている者又は教育機関、官公庁、民間企業等で10年以上（令和9年4月1日現在 ^{※2} ）勤務し地方教育行政の職に就くことを希望する者を募集します。						
日本国籍を有しない 外国人留学生等	<p>次のいずれかの資格を取得した者を募集します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本語能力試験」N2（2009年以前にあっては2級）以上に合格している者 ・「日本留学試験（日本語）」で200点以上の成績を出願時点で2年以内に収めた者 <p>なお、以下の①～③のいずれかに該当する者は日本語能力に関する資格の提出は必要ありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①在留資格が「永住者」又は「特別永住者」の者 ②日本の4年制大学を卒業（卒業見込みを含む）した者 ③国費外国人留学生 						

※1 教員免許状取得を出願要件とするコースにおいて、取得見込みで出願した者で、令和9年3月までに取得できない者は、入学許可を取り消します。（ただし、令和9年3月までに教員免許状取得に係る所要資格を得た者を除きます。）

※2 令和9年4月1日に出願要件を満たす者は、要件を満たしたことを証明する書類を入学時に提出してください。出願要件を満たさなかった者や、出願要件を満たしたことを証明する書類を提出しなかった者は、入学を取り消します。

7 出願手続

インターネット出願（出願サイトで出願登録した上で、出願書類を郵送する方法）により出願してください。

(1) 出願書類等 (注1)

書 類 等	提出該当者	摘 要
1 入学志願票 出願サイトから出力	全 員	入学志願票を出願サイトからA4サイズで出力してください。
2 卒業（見込み）証明書 ※出願時点で発行日が1年以内のものに限る	全 員	ア 大学を卒業した者又は卒業見込みの者 <small>(注2)</small> 出身大学の学長又は学部長が作成した「卒業（見込み）証明書」を提出すること。 <small>(修士・専門職学位、博士課程を修了している場合も大学(学部)の「卒業証明書」を提出すること)</small> イ 上記以外の者 最終学校の卒業証明書又は学位授与証明書等出願資格に関わる証明書を提出すること。
3 成績証明書 ※出願時点で発行日が1年以内のものに限る	全 員 <small>(教職経験者 <small>(注3)</small> を除く。)</small>	ア 出身大学の学長又は学部長が作成したものを提出すること。なお、卒業（見込み）証明書と同じ大学(学部)の証明書を提出すること。 イ 編入学により入学し、大学を卒業（見込み）の者は、編入前の大学等の成績証明書も併せて提出すること。
4 教育職員免許状授与証明書 ※出願時点で発行日が1年以内のものに限る	該 当 者 <small>(3ページの「4 出願資格の(8)」に該当する資格により出願する者)</small>	該当する免許状を授与された都道府県教育委員会から交付された「教育職員免許状授与証明書」を提出すること。 ※大学を卒業した者及び卒業見込みの者については、提出を要しない。
5 専攻・コース志望調書（第1志望用） 本学 web サイトからダウンロード <small>(注4)</small>	全 員	所定の様式（第1志望用）によること。 ※教育政策リーダーコースの志望者は、教育政策リーダーコース用のものを提出すること。 ※コースによっては別紙の提出が必要であるため、必ず13ページ「11 選抜方法」を確認すること。 留学生は、用紙裏面「記入上の注意」4及び6(2)の内容についても留意のうえ、記入すること。
6 専攻・コース志望調書（第2志望用） 本学 web サイトからダウンロード <small>(注4)</small>	該 当 者 <small>(第2志望のある者)</small>	所定の様式（第2志望用）によること。 派遣研修制度による現職教員で、臨床心理学コースを第1志望とする者は、必ず第2志望まで選択し、提出すること。 ※コースによっては別紙の提出が必要であるため、必ず13ページ「11 選抜方法」を確認すること。 留学生は、用紙裏面「記入上の注意」4及び6(2)の内容についても留意のうえ、記入すること。
7 同 意 書	現 職 者 ※フレックスクラス除く	現に学校、官公庁又は会社等に在職している者で現職のまま本学大学院に入学しようとする者（派遣研修制度又は大学院修学休業制度の利用が認められた者を含む）は、任命権者等（例えば、幼稚園、小・中学校及び高等学校の教員にあつては教育委員会等）の同意書の写しを提出すること。 なお、大学院修学休業制度の利用を教育委員会に申請中（又は申請予定）の場合は、出願時には8を提出のうえ、当該教育委員会から利用許可が得られ次第、同意書又は許可通知書の写し等の利用が認められたことを証明する書類を提出すること。〔 <small>(注5)</small> 参照〕

書 類 等	提出該当者	摘 要
8 在職期間証明書 〔派遣研修制度又は大学院修学休業制度の利用が認められた者を除く。〕 本学 web サイトからダウンロード (注4)	教職経験者 (注3) (学校経営コース (フレックスクラス) 及び教育政策リーダーコース志願者を除く)	所定の様式によること。(在職機関の長が発行し、教職経験期間3年以上(教育実践高度化専攻のコースのフレックスクラスは5年以上)が確認できるもの) なお、以下の者も提出すること。 ・大学院修学休業制度申請中又は申請予定の者〔(注5)参照〕 ・(特別支援教育専攻または教育実践高度化専攻の)フレックスクラスを志願する者 ・臨床心理学コース(フレックスクラス)を志望し、4ページ「6 出願要件」の(1)に該当する者
	言語系コース(国語)を志望し、4ページ「6 出願要件」における同コースの出願要件(1)に該当する者	所定の様式を用いて、(1)の出願要件が確認できるものを提出すること。(在職機関の長が発行したもの)
	教育政策リーダーコース志願者	所定の様式を用いて、出願要件が確認できるものを提出すること。(在職機関の長が発行したもの)
9 職歴に関する申告書 本学 web サイトからダウンロード (注4)	学校経営コース(フレックスクラス)志願者	所定の用紙を作成のうえ、5ページに記載の出願要件が確認できる証明書等も併せて提出すること。 ※パソコン入力による作成も可。(署名欄は自筆すること)
10 日本語教師資格要件に関する証明書の写し	言語系コース(国語)を志望し、4ページ「6 出願要件」における同コースの出願要件(1)に該当する者	(1)の出願要件が確認できる証明書の写しを提出すること。
11 業務内容証明書	臨床心理学コース(フレックスクラス)を志望し、4ページ「6 出願要件」における同コースの出願要件(2)又は(3)に該当する者	任意様式により、(2)又は(3)の出願要件が確認できるものを提出すること。(在職機関の長が発行したもの) なお、(2)に該当する者で、業務内容が法令等により規定されている国家公務員は、法令等を提出することで業務内容証明書に代えることができる。
	言語系コース(国語)を志望し、4ページ「6 出願要件」における同コースの出願要件(2)に該当する者	任意様式により、(2)の出願要件が確認できるものを提出すること。(在職機関の長が発行したもの)
12 心理支援関連の資格証明書の写し	臨床心理学コース(フレックスクラス)を志望し、4ページ「6 出願要件」における同コースの出願要件(3)に該当する者	(3)の出願要件が確認できる資格証明書の写しを提出すること。
13 「日本語能力試験」又は「日本留学試験(日本語)」の成績確認書類	外国人留学生 ※6ページ①～③に該当する者を除く。	4ページ「6 出願要件」に記載している「日本語能力試験」又は「日本留学試験(日本語)」について、出願要件を確認するため、次の書類を提出すること。 ・日本語能力試験:「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」(原本) ・日本留学試験(日本語):受験票の写し(受験番号が確認できるもの)
14 在留カードの写し	日本に在住する外国人	日本に在住する外国人は、在留カード両面の写し(在留資格・在留期間を明記したもの)を提出すること。
15 国費外国人留学生証明書	国費外国人留学生	在籍している大学発行の国費外国人留学生証明書を提出すること。

書 類 等	提出該当者	摘 要
16 外部検定試験の成績に関する証明書	言語系コース（英語）を志望し、13ページ「11 選抜方法」における同コースの（注）に該当する者	外部検定試験を利用する者は、該当する証明書等（教職経験者を除く）を提出すること。
17 検 定 料 30,000 円 ※支払い時に別途手数料が必要	全 員 〔国費外国人留学生及び（注6）に該当する者を除く。〕	※大規模な自然災害で被災された方を対象に、令和9年度入学試験にかかる検定料免除の特別措置を講じます。詳細については、次の Web ページをご覧ください。 https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/kenteiryomenjyo.php

(注1) 受理した出願書類は、理由の如何に関わらず返還しません。また、日本語以外で記載した証明書等には、すべて日本語訳を添付してください。

(注2) 大学卒業見込みで出願したもので、令和9年3月までに卒業できない者は、入学許可を取り消します。

(注3) 「教職経験者」とは、初等中等教育（幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校）における、常勤又は常勤相当の勤務形態の教職経験を3年以上（令和9年4月1日現在）有する者をいいます。（教育実践高度化専攻のコースのフレックスクラス（学校経営コース及び教育政策リーダーコースを除く）は、常勤又は常勤相当の勤務形態の教職経験を5年以上有する者を募集します。）

※「常勤相当の勤務形態」とは、週4日以上又は週15時間以上の勤務形態を指します。

なお、教職経験には次の期間（ただし、休職期間は除く）を含みます。

- ・認定こども園（地方裁量型認定こども園を除く。）の保育実務経験の期間
- ・保育所（無認可のものを除く。）の保育実務経験の期間
- ・平成10年6月以降に学校栄養職員として勤務した期間

(注4) 本学 web ページ (<https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/master/request.php>) からフォーマットをダウンロードし Word により作成することができます。その際は、必ず両面印刷したものを提出してください。

(注5) 派遣研修制度、大学院修学休業制度の概要は以下のとおりです。

派遣研修制度：教育委員会等から同意を得て、教員の身分を保有したまま大学院に在学し、研修を行う制度です。給与等は支給されますが、職務には従事しないというものです。

大学院修学休業制度：教育公務員特例法等の一部を改正する法律（平成12年4月28日法律第52号）により、一定の要件を満たす国公立学校の教員に対して、専修免許状を取得するため1年を単位とする3年を越えない期間、大学院に在学し、研修を行うため休業ができる制度です。休業中の教員は、給与は支給されませんが、教員の身分を保有し、職務には従事しないというものです。

(注6) 兵庫教育大学学校教育学部を令和9年3月に卒業見込みの者で、本研究科に引き続き進学する者は、徴収しません。

(2) 出願方法

志願者は、市販の角型2号封筒（24cm×33.2cm）に出願サイトから印刷した「封筒貼付用宛名シート」を貼り付け、出願書類等を一括し、希望する選抜試験に応じた「ア 出願期間中」に必着するよう「書留」により郵送してください。

【重要】

「ア 出願期間」中にインターネットで手続きを行ったとしても「郵送が必要な出願書類の提出期間」を過ぎたものは受理しません。

郵送期間を十分考慮して、手続きを行い、出願期間内に必着するよう「書留」により出願書類を送付してください。

※インターネット出願の詳細については、本学 Web ページ (<https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/master/request.php>) 及び出願サイトでご確認ください。（募集要項公表後に、操作方法・支払方法等が変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。）

ア 出願期間 (注) 出願期間を過ぎた場合は受理しませんので、郵送期間を十分考慮して送付してください。

[8月選抜] 令和8年7月1日（水）～ 7月8日（水）

[11月選抜] 令和8年10月7日（水）～ 10月14日（水）

[2月選抜] 令和9年1月21日（木）～ 1月27日（水）

8 第2志望の選択について

すべての選抜区分（8月選抜、11月選抜、2月選抜等）において、「第1志望」のコース（クラス）に対して、次表に従い「第2志望」を選択することができます。

派遣研修制度による現職教員で、臨床心理学コースを第1志望とする者は、必ず第2志望まで選択してください。それ以外の者は、希望する場合のみ「第2志望」を選択してください。

〈専攻・コースの志望方法〉

第1志望として選択した専攻・コース（クラス）に対して、それぞれ第2志望として選択できる専攻・コース（クラス）は11ページのとおりです。

- （注1）昼間クラスを第1志望とした者は、フレックスクラスを第2志望として選択することはできません。また、フレックスクラスを第1志望とした者は、昼間クラスを第2志望として選択することはできません。
- （注2）臨床心理学コース（昼間クラス）、発達障害支援実践コース及び教育政策リーダーコースは第2志望として選択することはできません。
- （注3）教育政策リーダーコース及び授業実践課題探究コースを第1志望とした者は、第2志望を選択することはできません。
- （注4）理数系教員養成特別プログラム及びダブルディグリープログラム申請者は、第2志望を選択することはできません。また、第2志望として選択したコースが、理数系教員養成特別プログラム又はダブルディグリープログラムの申請ができるコースであっても、第2志望のコースから当該プログラムの申請はできません。

第1志望として選択した専攻・コース（クラス）に対して、それぞれ第2志望として選択できる専攻・コース（クラス）

専攻・コース（クラス）		第1志望として選択できる専攻・コース（クラス）		第2志望として選択できる専攻・コース（クラス）		修士課程		専門職学位課程	
		昼	夜	昼	夜	人間発達教育専攻	特別支援教育専攻	教育実践高度化専攻	教育実践高度化専攻
修士課程	人間発達教育専攻	教育コミュニケーションコース	フレックス	昼	夜	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース
		幼年教育・発達支援コース	フレックス	昼	夜	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース
	学校心理・学校健康教育・発達支援コース	学校心理	フレックス	昼	夜	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース
		臨床心理学コース	フレックス	昼	夜	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース
	臨床心理学コース	臨床心理学	フレックス	昼	夜	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース
		発達心理学	フレックス	昼	夜	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース
	芸術表現系教育コース	芸術表現系教育	フレックス	昼	夜	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース
		生活・健康・情報系教育コース	フレックス	昼	夜	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース
	障害科学コース	障害科学	フレックス	昼	夜	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース
		発達障害支援実践コース	フレックス	昼	夜	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	教育実践高度化	フレックス	昼	夜	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース
		教育実践高度化	フレックス	昼	夜	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース
	発達障害支援実践コース	発達障害支援実践	フレックス	昼	夜	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース
		発達障害支援実践	フレックス	昼	夜	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース
	発達障害支援実践コース	発達障害支援実践	フレックス	昼	夜	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース
		発達障害支援実践	フレックス	昼	夜	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース
	発達障害支援実践コース	発達障害支援実践	フレックス	昼	夜	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース
		発達障害支援実践	フレックス	昼	夜	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース
	発達障害支援実践コース	発達障害支援実践	フレックス	昼	夜	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース
		発達障害支援実践	フレックス	昼	夜	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース
発達障害支援実践コース	発達障害支援実践	フレックス	昼	夜	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	
	発達障害支援実践	フレックス	昼	夜	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	発達心理学コース	

9 受験票のダウンロードについて

受験票は出願サイトからダウンロードし、オンライン接続チェック及び試験日までに印刷し、保管してください。受験票は下表の期日までに、出願サイト上で公開します。受験票が公開されるとその旨を登録したメールアドレス宛に送信されます。次のドメイン「@e-apply.jp」を受信可能な状態に設定してください。

また、受験に関する詳細については、受験票公開時に通知する「受験者心得」を参照してください。

	8月選抜	11月選抜	2月選抜
期日	7月31日（金）	10月30日（金）	2月10日（水）

※受験票公開後、翌日までに、事前課題等を該当する受験者にお知らせします。

10 試験の日程

口述試験（オンライン面接）は、Zoom（Zoom Video Communications 社の提供するオンライン通話アプリケーション）を使用し行います。

静穏かつ安定したインターネット接続環境が維持できる場所（自宅等の個室）に必要な機器を設置し、通話して受験してください。（インターネットカフェ等の商業施設は不可）

また、通信環境を確認するため、事前に大学との間でオンライン接続チェックを行います。オンライン接続チェックは、試験の一環として実施するので、オンライン接続チェックを欠席した場合は試験日の口述試験（オンライン面接）は受験できません。

- （注）・機器の確保及び良好な通信環境の確保については、受験者の責任で行ってください。
・試験を実施するにあたり十分な通信環境が確保されていることの判断は、面接委員が行います。受験者の通信環境が充分でなく試験が進行できないとの判断が下された際には、試験を打ち切ることがあります。

口述試験は、一人あたり10～30分程度で、個人形式で行います。試験時間は、受験票送付の際にお知らせします。

試験の日程

選抜区分	オンライン接続チェック	試験日 ^{（注1）}
8月選抜 ^{（注2）}	令和8年 8月3日（月）～8月5日（水）のうち、 大学が指定した日時	令和8年8月22日（土） ^{（注3）}
11月選抜	令和8年 11月10日（火）～11月12日（木）のうち、 大学が指定した日時	令和8年11月21日（土） ^{（注4）}
2月選抜 ^{（注5）}	令和9年 2月12日（金）、15日（月）、16日（火）のうち、 大学が指定した日時	令和9年2月27日（土） （臨床心理学コース除く）

（注1）本学の通信環境の不具合等により試験を中止した場合、予備日に試験を実施することがあります。各選抜の予備日は次のとおりです。

選抜区分	予備日
8月選抜	令和8年8月29日（土）、30日（日）
11月選抜	令和8年11月28日（土）、29日（日）
2月選抜	令和9年3月6日（土）

（注2）8月選抜では、臨床心理学コース（フレックスクラス）及び障害科学コース（フレックスクラス）は募集を行いません。

（注3）志願者数により、一部受験者は8月23日（日）に試験を行う場合があります。

（注4）志願者数により、一部受験者は11月22日（日）に試験を行う場合があります。

（注5）2月選抜では、臨床心理学コースは募集を行いません。

11 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、次の方法により行います。
- ア 事前課題（一部のコース）
 - イ 専攻・コース志望調書の採点（一部のコース）
 - ウ 口述試験（全コース：オンライン面接）
- (2) 可否の判定は、事前課題、専攻・コース志望調書及び口述試験の評価を総合して行います。
ただし、事前課題、専攻・コース志望調書、口述試験の評価のいずれかが著しく低い場合は不合格となる場合があります。
- (3) 各コースの試験概要及び配点は次のとおりです。
- *教職経験者の定義については、9ページ（注3）を参照してください。

課程	専攻・コース	試験概要	配点			
			事前課題	専攻・コース志望調書	口述	合計
修士課程	教育コミュニケーション	教職経験者	—	—	500	500
		教職経験者以外	250	—	250	500
	幼年教育・発達支援	教職経験者	—	—	500	500
		教職経験者以外	—	—	500	500

課程	専攻・コース	試験概要	配点			
			事前課題	専攻・コース志望調書	口述	合計
修士課程	人間発達教育専攻 学校心理・学校健康教育・発達支援	<p>口述試験（オンライン面接）を課す。</p> <p>ただし、専攻・コース志望調書の「入学後の研究希望課題又は実践研究希望課題と内容」「これまでの研究、実践、取組等」については、任意で、専攻・コース志望調書に直接書くのではなく、A4サイズの別紙1枚に記載することができる（採点の対象とはしない）。</p> <p>[専攻・コース志望調書の内容を別紙に記載する場合の記述内容] 専攻・コース志望調書の「入学後の研究希望課題又は実践研究希望課題と内容」「これまでの研究、実践、取組等」を専攻・コース志望調書に直接書くのではなく、A4サイズの別紙1枚を用意し、縦置き・横書き・文字ポイント10.5として、1,000字程度（最大1,600字以内）で、次の4点に分けて具体的に記述すること。</p> <p>(1) 研究希望課題（タイトル）及びキーワード（3～5個） (2) これまでの経験や学習内容と研究希望課題との関連 (3) 具体的な研究内容・方法について (4) 本研究の成果を修了後にどのように活かしていきたいのか</p> <p>[口述試験概要] 主として、志望するコースにおける研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。</p>	—	—	500	500
		<p>専攻・コース志望調書の採点及び口述試験（オンライン面接）を課す。</p> <p>[専攻・コース志望調書の記述内容、採点] 専攻・コース志望調書の「入学後の研究希望課題又は実践研究希望課題と内容」「これまでの研究、実践、取組等」を専攻・コース志望調書に直接書くのではなく、A4サイズの別紙1枚を用意し、縦置き・横書き・文字ポイント10.5として、1,000字程度（最大1,600字以内）で、次の4点に分けて具体的に記述すること。筆記試験に代わるものとして、100点満点で採点する。</p> <p>(1) 研究希望課題（タイトル）及びキーワード（3～5個） (2) これまでの経験や学習内容と研究希望課題との関連 (3) 具体的な研究内容・方法について (4) 本研究の成果を修了後にどのように活かしていきたいのか</p> <p>[口述試験概要] 主として、志望するコースにおける研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。</p>	—	100	400	500

課程	専攻・コース	試験概要	配点				
			事前課題	専攻・コース志望調書	口述	合計	
修士課程	臨床心理学	<p>口述試験（オンライン面接）を課す。</p> <p>[口述試験概要] ①と②の両方を試問する。 ①「心理学基礎」、「統計」、「教育臨床心理学」、「発達障害臨床心理学」、「学校精神保健学」、「英語」から出題する。 ②主として、志望するコースにおける研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。 (注)「英和辞書」(電子辞書を含む)は使用不可。</p> <p>[専攻・コース志望調書の記述内容] 専攻・コース志望調書の「入学後の研究希望課題又は実践研究希望課題と内容」については、専攻・コース志望調書に直接書くのではなく、A4サイズの別紙1枚を用意し、縦置き・横書き・文字ポイント10.5として、1,000字程度(最大1,600字以内)で、次の(1)から(3)に分けて「研究計画」を具体的に記述すること。また、(4)についても記述すること。なお、手書きによる作成も差し支えない。 (1) 研究希望課題(タイトル) およびキーワード(3~5個) (2) 問題と目的 (3) 具体的な研究内容・方法について (4) 引用文献</p>	—	—	500	500	
		<p>事前課題及び口述試験（オンライン面接）を課す。</p> <p>[事前課題] 受験票公開後、翌日までに通知する。</p> <p>[口述試験概要] コースの志望動機・目的、本コースにおける自身の実践研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問するとともに、これまでの実践研究・教育活動および職場での経験を踏まえた課題認識等についても、併せて試問する。</p>	200	—	300	500	
	芸術表現系教育(音楽)	教職経験者	<p>事前課題及び口述試験（オンライン面接）を課す。</p> <p>[事前課題] 下記の①~③のうち一つを選んで事前に提出すること。 ①声楽又は任意の楽器による自由曲1曲の演奏を収録した動画 ②音楽又は音楽教育に関する研究論文1点(大学学部等の卒業論文を除く) ③自身の作曲による音楽作品の楽譜1点 提出は電子データによる。収録方法、提出方法等は受験票公開後、翌日までに通知する。</p> <p>[口述試験概要] 主として、志望するコース[音楽]における研究や音楽科に関する知識等について専攻・コース志望調書を参考に試問する。</p>	200	—	300	500
		教職経験者以外	<p>事前課題及び口述試験（オンライン面接）を課す。</p> <p>[事前課題] 下記の①~③のうち一つを選んで事前に提出すること。 ①声楽又は任意の楽器による自由曲1曲の演奏を収録した動画 ②音楽及び音楽教育に関する研究論文1点(大学学部等の卒業論文を除く) ③自身の作曲による音楽作品の楽譜1点 提出は電子データによる。収録方法、提出方法等は受験票公開後、翌日までに通知する。</p> <p>[口述試験概要] 主として、志望するコース[音楽]における研究や音楽科に関する知識等について専攻・コース志望調書を参考に試問するとともに、音楽科教育分野及び声楽・器楽等専門分野の基礎的な知識を問う。</p>	200	—	300	500

課程	専攻・コース	試験概要	配点					
			事前課題	専攻・コース志望調書	口述	合計		
人間発達教育専攻課程	芸術表現系教育(美術)	教職経験者	口述試験(オンライン面接)を課す。 [口述試験概要] 主として、志望するコース[美術]における研究や図画工作科・美術科に関する知識等について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。なお、試験の際、受験者が制作した作品等の成果物又は指導した児童・生徒の作品を3点程度提示できるよう、手元に用意しておいてもよい(写真でもよい)。	—	—	500	500	
		教職経験者以外	口述試験(オンライン面接)を課す。 [口述試験概要] 主として、志望するコース[美術]における研究や図画工作科・美術科に関する知識等について、専攻・コース志望調書を参考に試問するとともに、美術の基礎的な知識を試問する。なお、試験の際、受験者が制作した作品等の成果物又は指導した児童・生徒の作品を3点程度提示できるよう、手元に用意しておいてもよい(写真でもよい)。	—	—	500	500	
	生活・健康・情報系教育	教職経験者	口述試験(オンライン面接)を課す。 [口述試験概要] 専攻・コース志望調書を参考に志望動機や研究計画を試問するとともに、1. 体育スポーツの指導・運動学・体育学などスポーツや健康、保健体育科教育に関する分野、2. 衣食住・家族・地域など生活や健康、家庭科教育に関する分野、3. 情報教育・ICT活用教育など教育の情報化に関する分野の範囲から基本的並びに専門的な知識について試問する。	—	—	500	500	
		教職経験者以外	専攻・コース志望調書の「入学後の研究希望課題と内容」に関する詳細なレポートの採点及び口述試験(オンライン面接)を課す。 [専攻・コース志望調書の記述内容、採点] 専攻・コース志望調書の「入学後の研究希望課題と内容」を、指定の様式に概要を記入し、さらにこれに関する詳細なレポートを作成し、出願時に提出するものとして、200点満点で採点する。なお、作成の際、1. 背景、2. 問題、3. 目的、4. 研究計画の見出しを立て、具体的かつ明確に記述すること。分量はA4サイズ用の紙2枚(片面)以内とする。その他の様式(フォント、行数設定等)は自由とする。 [口述試験概要] 専攻・コース志望調書を参考に志望動機や研究計画を試問するとともに、1. 体育スポーツの指導・運動学・体育学などスポーツや健康、保健体育科教育に関する分野、2. 衣食住・家族・地域など生活や健康、家庭科教育に関する分野、3. 情報教育・ICT活用教育など教育の情報化に関する分野の範囲から基本的並びに専門的な知識について試問する。	—	200	300	500	
	特別支援教育専攻	障害科学	教職経験者	口述試験(オンライン面接)を課す。 [口述試験概要] 主として、志望するコースにおける研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。	—	—	500	500
			教職経験者以外	口述試験(オンライン面接)を課す。 [口述試験概要] 主として、志望するコースにおける研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問するとともに、障害科学に関する問題(障害児の教育、心理、病理、指導法等)についても適宜含めて試問する。	—	—	500	500

課程	専攻・コース	試験概要		配点			
				事前課題	専攻・コース志望調書	口述	合計
修士課程	特別支援教育専攻 発達障害支援実践	教職経験者	口述試験（オンライン面接）を課す。 [口述試験概要] 本コース志望の理由、入学後に学びたいこととその理由について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。	—	—	500	500
		教職経験者以外	口述試験（オンライン面接）を課す。 [口述試験概要] 本コース志望の理由、入学後に学びたいこと及びその理由について、専攻・コース志望調書を参考に試問するとともに、学校における発達障害支援に関する基礎的知識についても、併せて試問する。	—	—	500	500
専門実践学位課程	教育実践 学校経営	全員	専攻・コース志望調書の採点及び口述試験（オンライン面接）を課す。 [専攻・コース志望調書の記述内容、採点] 専攻・コース志望調書の「入学後の実践研究希望課題と内容」を250点満点で採点するので、「学校管理職若しくは教育行政職としての目指す姿」を踏まえ、入学後に希望する実践研究の内容や計画を詳細に記述（別紙による記述も可とするが、A4サイズ1ページに限る。）すること。 フレックスクラスを志望する者については、職歴に関する申告書の提出の際に、学校教育に関する課題意識の記述を求め、口述試験の参考資料とする。 [口述試験概要] 主として、専攻・コース志望調書に基づいて、「学校管理職若しくは教育行政職としての目指す姿」について試問する。	—	250	250	500
		教職経験者	口述試験（オンライン面接）を課す。 [口述試験概要] 主として、専攻・コース志望調書に基づいて、授業実践に関わる基礎的な諸事項及び、包括的生徒指導に関する学校における取組状況や問題関心等について試問する。	—	—	500	500
	教育方法・生徒指導 マネジメント	教職経験者以外（国際貢献型留学生を含む。）	事前課題と口述試験（オンライン面接）を課す。 [事前課題] コースが指定する、公的機関や一般社団法人でなされた研究が記載されているサイトや報告書を1件読むこと。なお、具体的な報告書名ないしサイト名は、受験票公開後、翌日までに通知する。 [口述試験概要] ①事前課題に関して、②主として、専攻・コース志望調書に基づいて、授業実践に関わる基礎的な諸事項及び、包括的生徒指導に関する学校における取組状況や問題関心等について試問する。	—	—	500	500

課程	専攻・コース	試験概要	配点			
			事前課題	専攻・コース志望調書	口述	合計
専門職学位課程	教育実践高度化専攻 言語系（国語）	<p>専攻・コース志望調書の採点及び口述試験（オンライン面接）を課す。</p> <p>[専攻・コース志望調書の記述内容、採点] 専攻・コース志望調書の「入学後の実践研究希望課題と内容」を専攻・コース志望調書に直接書くのではなく、A4サイズの別紙1枚を用意し、縦置き・横書き・文字ポイント10.5、およそ40字×40行で、次の4点に分けて具体的に記述すること。筆記試験に代わるものとして、この4点を200点満点で採点する。</p> <p>(1) 実践研究希望課題（タイトル） (2) 実践研究を行うに至った動機・背景 (3) 自己の実践研究希望課題と教育実践との関連性 (4) 実践研究内容と実施計画</p> <p>[口述試験概要] 自らの実践を踏まえた課題認識と大学院での修学計画を中心に試問する。</p>	—	200	300	500
		<p>専攻・コース志望調書の採点及び口述試験（オンライン面接）を課す。</p> <p>[専攻・コース志望調書の記述内容、採点] 専攻・コース志望調書の「入学後の実践研究希望課題と内容」を専攻・コース志望調書に直接書くのではなく、A4サイズの別紙1枚を用意し、縦置き・横書き・文字ポイント10.5、およそ40字×40行で、次の4点に分けて具体的に日本語で記述すること。筆記試験に代わるものとして、この4点を200点満点で採点する。</p> <p>(1) 実践研究希望課題（タイトル） (2) 実践研究を行うに至った動機・背景 (3) 自己の実践研究希望課題と教育実践との関連性 (4) 実践研究内容と実施計画</p> <p>[口述試験概要] 大学（学部）での学修や職場での経験を踏まえた課題認識と大学院での修学計画を中心に試問する。</p>	—	200	300	500

課程	専攻・コース	試験概要	配点			
			事前課題	専攻・コース志望調書	口述	合計
専攻 教育実践 学高度化 位専攻 課程	言語系（英語）	<p>専攻・コース志望調書の採点及び口述試験（オンライン面接）を課す。</p> <p>[専攻・コース志望調書の記述内容、採点] 専攻・コース志望調書の「入学後の実践研究希望課題と内容」を専攻・コース志望調書に直接書くのではなく、A4サイズの別紙1ページ以内に、縦置き・横書き・文字ポイント10.5・文字フォント「MS明朝」（日本語）、「Times New Roman」（英数字）・40字×40行（厳守）で、次の4点に分けて具体的に日本語で記述すること。筆記試験に代わるものとして、この4点を100点満点で採点する。</p> <p>(1) 実践研究希望課題（タイトル） (2) 実践研究を行うに至った動機・背景 (3) 自己の実践研究希望課題と教育実践との関連性 (4) 2年間（フレックスクラスを志望し、長期履修学生制度の利用を希望する場合は3年間）の実践研究内容と実施計画</p> <p>[口述試験概要] 専攻・コース志望調書に基づき、入学後の実践研究及び英語科教育に関する実践的課題について日本語及び英語で試問する。</p>	—	100	400	500
		<p>専攻・コース志望調書の採点及び口述試験（オンライン面接）を課す。</p> <p>[専攻・コース志望調書の記述内容、採点] 専攻・コース志望調書の「入学後の実践研究希望課題と内容」を専攻・コース志望調書に直接書くのではなく、A4サイズの別紙1ページ以内に、縦置き・横書き・文字ポイント10.5・文字フォント「MS明朝」（日本語）、「Times New Roman」（英数字）・40字×40行（厳守）で、次の4点に分けて具体的に日本語で記述すること。筆記試験に代わるものとして、この4点を50点満点で採点する。</p> <p>(1) 実践研究希望課題（タイトル） (2) 実践研究を行うに至った動機・背景 (3) 自己の実践研究希望課題と教育実践との関連性 (4) 2年間（フレックスクラスを志望し、長期履修学生制度の利用を希望する場合は3年間）の実践研究内容と実施計画</p> <p>[口述試験概要] (1) 事前に送付する資料に基づいて試問する。 (2) 専攻・コース志望調書に基づき、入学後の実践研究及び英語科教育に関する実践的課題について日本語及び英語で試問する。</p>	—	50	450	500
		<p>教職経験者以外（外部試験で資格・スコアなど条件を満たす者）</p> <p>(注) 英検準1級以上、出願時点で2年以内に取得したTOEFL-iBTのスコア72点以上、出願時点で2年以内に取得したTOEIC Listening & Reading Test（IPを除く）のスコア785点以上、ケンブリッジ英語検定レベル3（FCE）、IELTS（アカデミック・モジュール）のスコア5.5点以上のいずれかの資格を有する者は、口述試験450点のうち、100点を与える。ただし、英検に関しては「合格証明書」、TOEFLに関しては「Official Score Reports」、TOEICに関しては「Official Score Certificate」、ケンブリッジ英語検定試験に関しては「認定書」、IELTSに関しては「成績証明書」を出願書類と併せて出願用封筒に入れて提出すること。</p>	100	50	350	500

課程	専攻・コース	試験概要	配点			
			事前課題	専攻・コース志望調書	口述	合計
専門実践学高度化専攻	社会系	教職経験者 専攻・コース志望調書の採点及び口述試験（オンライン面接）を課す。 [専攻・コース志望調書の記述内容、採点] 専攻・コース志望調書の「入学後の実践研究希望課題と内容」を200点満点で採点するので、入学後に希望する研究の内容や計画を詳細に記述（別紙による記述も可とするが、A4サイズ1ページに限る。）すること。 [口述試験概要] 主として、志望するコースにおける研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。	—	200	300	500
		教職経験者以外（国際貢献型留学生を含む。） 口述試験（オンライン面接）を課す。 [口述試験概要] 主として、志望するコースにおける研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。	—	—	500	500
	理数系（数学）	教職経験者 口述試験（オンライン面接）を課す。 [口述試験概要] 主として、志望するコース〔数学〕における研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。	—	—	500	500
		教職経験者以外（国際貢献型留学生を含む。） 口述試験（オンライン面接）を課す。 [口述試験概要] 主として、志望するコース〔数学〕における研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問するとともに、中等教育の数学の内容についても試問する。 なお、試験の際、計算用紙と筆記用具を手元に用意すること。また、口述試験の配点は、研究等の試問250点、中等教育の数学の内容に関する試問250点とする。 [口述試験概要（国際貢献型留学生）] 主として、志望するコース〔数学〕における研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問するとともに、中等教育の数学の内容及び日本語能力についても試問する。 なお、試験の際、計算用紙と筆記用具を手元に用意すること。また、口述試験の配点は、研究等の試問250点、中等教育の数学の内容に関する試問250点とする。	—	—	500	500
	理数系（理科）	教職経験者 口述試験（オンライン面接）を課す。 [口述試験概要] 主として、志望するコース〔理科〕における研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。	—	—	500	500
		教職経験者以外（国際貢献型留学生を含む。） 口述試験（オンライン面接）を課す。 [口述試験概要] 主として、志望するコース〔理科〕における研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問するとともに、受験者の専門分野や理科教育についても試問する。 [口述試験概要（国際貢献型留学生）] 主として、志望するコース〔理科〕における研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問するとともに、受験者の専門分野や日本語能力についても試問する。	—	—	500	500
	小学校教員養成特別（3年制・2年制）	全員 口述試験（オンライン面接）を課す。 [口述試験概要] 志望動機や研究計画等とともに、筆記教養試験に代わる内容を問う。	—	—	500	500

課程	専攻・コース	試験概要	配点			
			事前課題	専攻・コース志望調書	口述	合計
専攻 教育実践 学位課程	グローバル教育リーダー	<p>専攻・コース志望調書の採点及び口述試験（オンライン面接）を課す。</p> <p>[専攻・コース志望調書の記述内容、採点] 専攻・コース志望調書の「入学後の実践研究希望課題と内容」を200点満点で採点するので、「学校現場のグローバル化を推進するスクールリーダーとして目指す姿」を踏まえ、入学後に希望する実践研究の内容や計画を詳細に記述（別紙による記述も可とするが、A4サイズ1ページに限る。）すること。</p> <p>[口述試験概要] 主として、専攻・コース志望調書に基づいて、教育実践に関する問題の捉え方や内容・方法論、関心等について試問する。</p>	—	200	300	500
	教育政策リーダー	<p>専攻・コース志望調書の採点及び口述試験（オンライン面接）を課す。</p> <p>[専攻・コース志望調書の記述内容、採点] 専攻・コース志望調書の「入学後の実践研究希望課題と内容」を250点満点で採点するので、「現在の教育委員会制度の論点と課題」を踏まえ、地方教育行政のトップリーダーとして実現すべき政策に関連し、入学後に希望する実践研究の仮説の内容や計画を詳細に記述すること。</p> <p>[口述試験概要] 主として、専攻・コース志望調書に基づいて、地方教育行政のトップリーダーとしての在り方やその学修課題について試問する。</p>	—	250	250	500
	授業実践課題探究	<p>口述試験（オンライン面接）を課す。</p> <p>[口述試験概要] コースの志望動機・目的、本コースにおける自身の研究等について、専攻・コース志望調書を参考に試問する。</p>	—	—	500	500

【理数系教員養成特別プログラム選考試験概要（数学・理科）】 口述試験（オンライン面接）により選考する。

12 合格者の発表

[8月選抜] 令和8年9月4日（金）午前10時

※予備日に試験を行うコースがあった場合は9月11日（金）午前10時

[11月選抜] 令和8年12月4日（金）午前10時

※予備日に試験を行うコースがあった場合は12月11日（金）午前10時

[2月選抜] 令和9年3月12日（金）午前10時

- (1) 本学 web サイト (<https://www.hyogo-u.ac.jp/>) において、合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者に対して通知します。

なお、本人あて通知をもって正式な通知とします。

(注) 合否に関する問い合わせには応じません。

- (2) 合格者には、入学手続に必要な書類を送付するとともに、書類提出期日、その他入学手続に必要な事項を通知します。

13 入学手続

- ① 期 間 [8月選抜・11月選抜]
令和8年12月14日(月)～12月18日(金)
[2月選抜]
令和9年3月16日(火)～3月22日(月)
- ② 方 法 入学手続はインターネット上で行います。
詳細については、出願時に登録されたメールアドレス宛にお知らせします。
※8月選抜及び11月選抜の合格者には12月中旬、2月選抜の合格者には合格者発表後に通知します。
上記入学手続期間の前日になっても通知がない場合は、必ず次まで連絡してください。
兵庫教育大学学務課
TEL：0795-44-2040 / E-mail：aca-daigakuin@ml.hyogo-u.ac.jp

- ③ 入学時等に必要な経費
- | | | |
|----------|----------|---------------|
| 入学料 | 282,000円 | |
| 授業料(前期分) | 267,900円 | <年額 535,800円> |
- (注1) 入学料及び授業料の額は、令和8年度納付額であり、令和9年度は改定になる場合があります。
(注2) 在学時に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
(注3) 長期履修学生(入学当初から長期履修の許可を受けたフレックスクラス学生及び理数系教員養成特別プログラム受講者)については、通常の2年分の授業料を3年間で分割納入することになります。
(注4) ダブルディグリープログラム受講許可者については、3年分の授業料を納入することになります。

14 障害等のある入学志願者との事前相談

障害等のある者で、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、8月選抜は令和8年6月5日(金)、11月選抜は令和8年9月4日(金)及び2月選抜は令和8年12月23日(水)までに申し出てください。

(申出先) 兵庫教育大学入試課
TEL：0795-44-2067
E-mail：office-nyushi-t@ml.hyogo-u.ac.jp

15 その他の留意事項

- (1) 出願書類提出後における記載事項の変更は一切認めません。
- (2) 出願書類等に不備があるときは、受理しないことがあります。
- (3) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 出願書類及び検定料は理由の如何にかかわらず返還しません。
- (5) 出願等に関する照会は、Eメール又は電話等により本学入試課あてに行ってください。
- (6) この募集要項に記載されていることについて一部変更が生じたときは、必要に応じてwebサイト等で通知等を行うことがありますので留意してください。
- (7) 入学時において、入学料、授業料のほか厚生会費等の納入が必要となります。

16 授業時間及び授業方法等

授業時間及び授業の実施方法等は次のとおりです。

(1) 授業時間（月曜日～金曜日）

昼間クラス

時 限	授業開始・終了時刻
第1時限	9時00分～10時30分
第2時限	10時40分～12時10分
第3時限	13時10分～14時40分
第4時限	14時50分～16時20分
第5時限	16時30分～18時00分

フレックスクラス

時 限	授業開始・終了時刻
第6時限	18時30分～20時00分
第7時限	20時10分～21時40分

(2) 授業の実施方法等

各授業科目については、原則として、上記(1)のとおり開講します。

ただし、一部の授業科目は、土曜日・日曜日・祝日や集中講義形式で開講することもあります。

また、受講者数や教室等の関係で、授業実施方法等を変更することがあります。

(3) 各キャンパスの所在地

【加東キャンパス】

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

【神戸キャンパス】

〒653-0036 兵庫県神戸市長田区腕塚町5丁目2番1号

新長田キャンパスプラザ6～8階

17 長期履修学生制度の利用

フレックスクラスに入学する者で、職業を有している等の事情により、3年間にわたり計画的に教育課程を履修しようとする者は、許可を得て、3年間で修了することができます。

授業料の額等については、別冊子「大学院案内」をご覧ください。

(1) 申請方法

ア 申請期間

各選拔出願期間（9ページ参照）

イ 申請方法

出願サイトにおいて、長期履修の申請を行ってください。出願後の変更は出来ません。

(2) 許可者の発表

各選抜合格者発表日（21ページ参照）

本学 web サイト (<https://www.hyogo-u.ac.jp/>) において、許可者の受験番号を掲載するとともに、許可者に対して通知します。

なお、本人あて通知をもって正式な通知とします。

（注）可否に関する問い合わせには応じません。

18 小中連携教育プログラム（8月選抜・11月選抜のみ募集）

学校現場で急速に進む小中一貫・連携教育に対応できる教員を大学院で養成するため、本プログラム受講者は、大学院在学中（2年間）に小学校教諭2種免許状の所要資格を取得することができます。

さらに、修士課程の学生については、幼稚園教諭免許状を取得後、幼稚園教諭や保育教諭として3年以上の教職経験を有している者も小学校教諭2種免許状の所要資格を取得することができます。

（小学校教員養成特別コースの学生は中学校教諭2種免許状の所要資格を取得可能）

なお、本プログラムの受講者は、学部の教職課程を履修することになります。大学院生が履修しやす

くなるよう、多くの授業科目はオンライン（原則オンデマンド）方式での開講となります。

また、教職大学院（専門職学位課程）の共通基礎科目では、小中連携教育の理解を深めるための教職科目を開設しています。

詳細は、別冊子「大学院案内」をご覧ください。

(1) 小中連携教育プログラムのユニット、対象コース及び受講可能な者

本プログラムには次の3つのユニットがあります。

（コース毎の受講対象者は以下の表のとおりです。）

- ①小学校ユニット（昼間クラス）……………小学校教諭2種免許状取得可能
- ②中学校ユニット（小学校教員養成特別コース）
……………中学校教諭2種免許状（国・社・数・英いずれかの教科）
……………を取得可能
- ③現職ユニット（昼間・フレックスクラス）
……………小学校教諭2種免許状取得可能 教育職員免許法第6条別表8
……………適用者

小中連携教育プログラムのユニット、対象コース及び受講可能な者

大学院入学者選抜試験において出願するコース等			大学院入学前に取得 (取得見込み含む) が必要な教員免許状	受講可能な ユニット
修士課程	全専攻・コース	教職経験者（3年以上）※1	中学校または 幼稚園教諭免許状	現職ユニット
専門職学位課程	教育方法・生徒指導 マネジメントコース	教職経験のない者等※2	中学校教諭免許状	小学校ユニット
		教職経験者（3年以上）※1		現職ユニット
	言語系コース (国語・英語)	教職経験のない者等※2	中学校教諭免許状	小学校ユニット
		教職経験者（3年以上）※1		現職ユニット
	社会系コース	教職経験のない者等※2	中学校教諭免許状	小学校ユニット
		教職経験者（3年以上）※1		現職ユニット
	理数系コース (数学・理科)※3	教職経験のない者等※2	中学校教諭免許状	小学校ユニット
		教職経験者（3年以上）※1		現職ユニット
	小学校教員養成特別 コース	3年制コース※4	—	中学校ユニット
		2年制コース※4	小学校教諭1種免許状	
グローバル教育 リーダーコース	教職経験のない者等※2	中学校教諭免許状	小学校ユニット	
	教職経験者（3年以上）※1		現職ユニット	
授業実践課題探究 コース	教職経験者（3年以上）※1	中学校教諭免許状	現職ユニット	

※1 現職ユニット受講者は、中学校教諭として3年以上の教職経験（講師としての経験を含む。）がある者が対象となります。

（教職経験者の定義については、9ページ（注3）をご確認ください。）

なお、修士課程については、幼小連携教育にも対応できるよう、幼稚園教諭免許状を取得後、幼稚園教諭又は保育教諭として3年以上の教職経験（講師としての経験を含む。）がある者も受講対象とします。

※2 教職経験3年未満の者を含みます。

※3 理数系コースの学生で理数系教員養成特別プログラムを受講する者は小中連携教育プログラムを受講することはできません。

※4 小学校教員養成特別コース（3年制コース・2年制コース）の学生で、中学校教諭免許状（教科は問わない）を取得（取得見込み含む）している者は小中連携教育プログラムを受講することはできません。

(2) 修得単位数の目安（専門職学位課程の場合）

	小学校ユニット 受講者	中学校ユニット受講者 〔小学校教員養成特別コース （2年制コース）〕	現職ユニット 受講者 （実習免除が適用された場合）
専門職学位課程修了要件単位数	46	46	36～42
各ユニット科目単位数 ^{（注）}	34	32～38 （教科により異なります）	13
計	80	78～84	49～55

（注）ユニット科目の単位数については、受講者の既修得単位の状況により異なる場合があります。また、受講科目の改編等に変更される場合があります。

(3) 申請方法

ア 申請期間

8月選抜・11月選抜の各出願期間（9ページ参照）

※2月選抜では、募集を行いません。

イ 申請方法

出願サイトにおいて、小中連携教育プログラムの申請を行ってください。出願後の変更は出来ません。

（注）選抜試験に係る出願書類送付後の申請は一切受け付けません。

(4) プログラムの受講

(3)により申請した大学院入学者選抜試験の合格者は、全員受講可能とします。

また、8月選抜・11月選抜の各合格者発表日以後に受講許可者に対して通知します。

※プログラムの受講に関する詳細は、入学手続き完了後（2月中旬）に学務課から案内します。

19 理数系教員養成特別プログラム（8月選抜・11月選抜のみ募集）

理数系コース（昼間クラス）において、長期履修学生制度を適用して理数系教員養成特別プログラムを実施します。このプログラムは、大学院レベルの高度な教育実践力を持った中学・高等学校の「数学又は理科」教員の養成を行うことを目的としており、3年間で大学院の教育課程と学部の教職課程（中学・高等学校の数学又は理科の1種免許に関する単位）を併せて履修します。修了時には、中学・高等学校教諭専修免許状（数学又は理科）の取得が可能です。（数学と理科の両方の教員免許状を取得することはできません。）

(1) 申請資格

理数系コース（昼間クラス）を志願する者で、次のいずれかに該当する者

①理数系コース（数学）を志願する者で、中学校教諭免許状（数学）及び高等学校教諭免許状（数学）のいずれも取得していない者

②理数系コース（理科）を志願する者で、中学校教諭免許状（理科）及び高等学校教諭免許状（理科）のいずれも取得していない者

ただし、理数系コース（数学）を志願する者は理数系教員養成特別プログラムも「数学」を、理数系コース（理科）を志願する者は理数系教員養成特別プログラムも「理科」を申請する必要があります。

(2) 申請方法

ア 申請期間

8月選抜・11月選抜の各出願期間（9ページ参照）

※2月選抜では、募集を行いません。

イ 申請方法

出願サイトにおいて、理数系教員養成特別プログラムの申請を行ってください。出願後の変更は出来ません。

（注）選抜試験に係る出願書類送付後の申請は一切受け付けません。

(3) 受講可否の決定方法

大学院入学者選抜試験とは別に理数系教員養成特別プログラム選考試験を実施し、受験者の教職意欲や適性を判断して、受講の可否を決定します。

なお、受講できる人数は、大学院入学者選抜試験に合格した者の中から、理数系教員養成特別プログラム選考試験の結果により、8月選抜受験者から10人程度、11月選抜受験者から5人程度の受講許可者を決定します。

(注1) 理数系教員養成特別プログラムの受講申請者は、大学院入学者選抜試験と理数系教員養成特別プログラム選考試験の両方の試験を受験する必要があります。

(注2) 大学院入学者選抜試験に合格し、理数系教員養成特別プログラムの受講が不許可となった場合は、理数系コースへの入学は認められません。ただし、小学校教諭免許状を取得している場合は、標準修業年限を2年として理数系コースへの入学が認められます。

(注3) 大学院入学者選抜試験(8月選抜)に合格し、理数系教員養成特別プログラム選考試験の結果、受講不許可となった者は、11月選抜時に実施する理数系教員養成特別プログラム選考試験を再受験することができます。再受験希望者は入試課(TEL:0795-44-2067)までお問い合わせください。

(注4) 理数系教員養成特別プログラムの受講申請者は、大学院入学者選抜試験の第2志望を選択することはできません。

(注5) 理数系コースを第2志望として選択した場合、理数系教員養成特別プログラムを申請することはできません。

(4) 理数系教員養成特別プログラム選考試験日時等

実施日	選考方法	教科	試験概要
8月選抜・11月選抜試験日と同日(12ページ参照)	口述試験(オンライン面接)	数学	教職意欲や適性を判断するために、中等教育の数学の内容に関しても試問する。なお、試験の際、計算用紙と筆記用具を手元に用意すること。
		理科	適性を判断するため、教職への意欲と中等教育の理科の内容に関して試問する。

(5) 許可者の発表

8月選抜・11月選抜の各合格者発表日(21ページ参照)

※本学 web サイト (<https://www.hyogo-u.ac.jp/>) において、許可者の受験番号を掲載するとともに、許可者に対して通知します。

なお、本人あて通知をもって正式な通知とします。

(注) 可否に関する問い合わせには応じません。

20 ダブルディグリープログラム(8月選抜のみ募集)

教師教育の分野における教育研究を国際的にリードする人材の養成を行うことを目的としており、3年間で本学大学院(修士課程)[在学期間:1年6か月]と協定大学(大邱教育大学校[韓国]、京仁教育大学校[韓国]、屏東大学[台湾]、台北教育大学[台湾]又は高雄師範大学[台湾])の大学院(修士課程)[在学期間:1年6か月*]の教育課程を併せて履修します。修了時には、本学と協定大学における双方の学位を取得できます。

*特別な事情があると認める場合は、最長2年間(休学期間を含む。)まで延長することができます。

(1) 申請資格

2ページの「4 出願資格」を有する者で、それぞれの受講申請大学において、いずれかの語学能力を有する者。

ただし、次のいずれかに該当する者は申請できません。

- ① 臨床心理学コースを志願する者
- ② 発達障害支援実践コースを志願する者
- ③ 教育実践高度化専攻を志願する者
- ④ フレックスクラスを志願する者

【大邱教育大学校[韓国]、京仁教育大学校[韓国]】

・韓国語能力試験3級と同等以上の語学能力を有する者

【屏東大学[台湾]、台北教育大学[台湾]、高雄師範大学[台湾]】

・HSK試験(漢語水平考試)5級以上を有する者

- ・中国語能力試験（SC-TOP）レベル3以上を有する者
- ・日本中国語検定準1級以上を有する者
- ・英検準1級以上を有する者
- ・TOEFL-PBT（ITPを含む。）のスコア540点以上を有する者（出願時点で2年以内の取得に限る。）
- ・TOEFL-iBTのスコア76点以上を有する者
- ・TOEIC（IPを含む。）のスコア730点以上を有する者（出願時点で2年以内の取得に限る。）
- ・ケンブリッジ英語検定試験レベル3（FCE）以上を有する者
- ・IELTS（アカデミック・モジュール）のスコア5.5点以上を有する者

(2) 申請方法

ア 申請期間

8月選拔出願期間（9ページ参照）

※8月選抜のみ募集を行います。

イ 申請方法

出願サイトにおいて、ダブルディグリープログラムの申請を行い、語学能力に関する『外部検定試験の成績に関する証明書』を、出願書類と併せて送付してください。

（注）選抜試験に係る出願書類送付後の申請は一切受け付けません。

(3) 受講可否の決定方法

大学院入学者選抜試験とは別にダブルディグリープログラム選考試験を実施し、受験者の研究意欲や適性を判断して、受講の可否を決定します。

なお、受講できる人数は若干人とし、大学院入学者選抜試験に合格した者の中から、ダブルディグリープログラム選考試験の結果により、受講許可者を決定します。

（注1）ダブルディグリープログラムの受講申請者は、大学院入学者選抜試験とダブルディグリープログラム選考試験の両方の試験を受験する必要があります。

（注2）大学院入学者選抜試験に合格し、ダブルディグリープログラムの受講が不許可となった場合、同プログラムの受講はできませんが、標準修業年限を2年として大学院（修士課程）の教育課程を受けることができます。

（注3）ダブルディグリープログラムの受講申請者は、大学院入学者選抜試験の第2志望を選択することはできません。

（注4）第2志望として選択したコースがダブルディグリープログラムの申請ができるコースであっても、第2志望のコースから当該プログラムを申請することはできません。

(4) ダブルディグリープログラム選考試験日時等

実施日	試験科目等
8月選抜試験日と同日 (12ページ参照)	口述試験* (オンライン面接)

(5) 許可者の発表

8月選抜合格者発表日（21ページ参照）

※本学 web サイト（<https://www.hyogo-u.ac.jp/>）において、許可者の受験番号を掲載するとともに、許可者に対して通知します。

なお、本人あて通知をもって正式な通知とします。

（注）可否に関する問い合わせには応じません。

(6) その他

入学後、協定大学のダブルディグリー特別選抜に不合格等となった場合は、修業年限2年として本学大学院（修士課程）の教育課程を受けることができます。

21 国際貢献型留学生の募集について

専門職学位課程では、日本型教育を学び、主に母国における教育の向上に貢献することを旨とする留学生の方を、各選抜において若干人募集します。

(1) 対象者

日本型教育を学び、主に母国における教育の向上に貢献することを旨とする留学生の方（日本の教員免許状の有無は問わない。）

（注）上記以外の留学生の方は、通常の出願手続（7ページ以降）により出願してください。

(2) 対象コース ※下記の昼間クラスのみ募集

- ・教育方法・生徒指導マネジメントコース（昼間クラス）
- ・言語系コース（昼間クラス）
- ・社会系コース（昼間クラス）
- ・理数系コース（昼間クラス）
- ・グローバル教育リーダーコース（昼間クラス）

(3) 申請方法

ア 申請期間

各選抜出願期間（9ページ参照）

イ 申請方法

上記に該当する留学生の方は、出願サイトにおいて、「国際貢献型留学生区分」を選択のうえ、出身国（国籍）を記入してください。

(4) 口述試験（オンライン面接）の日時等

各選抜試験日（12ページ参照）

*試験概要及び配点は、13ページ「11 選抜方法」とおりです。

(5) 合格者の発表

各選抜合格者発表日（21ページ参照）

※本学 Web サイト (<https://www.hyogo-u.ac.jp/>) において、合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者に対して通知します。

なお、本人あて通知をもって正式な通知とします。

（注）合否に関する問い合わせには応じません。

22 学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための設置に関する法律（令和6年法律第69号）について

こども性暴力防止法の施行により、2026年12月25日より、学校や保育所、学習塾など、こどもに対して教育、保育などを行う事業者には、性暴力を防ぐための取組が求められることから、本学においても、次のとおり対応しますので、ご承知おきください。

- ・入学前及び実習前に性犯罪前科がない旨の誓約書の提出を求めます。
- ・性犯罪前科がある場合、実習ができないことにより、資格の取得、修了ができなくなります。

23 過去の入学者選抜状況

入学者選抜状況	修 士 課 程	区 分	募 集 人 員	令和8年度									
				8 月 選 抜		11 月 選 抜		2 月 選 抜					
				第1志願者	合格者	第2志願者	合格者	第1志願者	合格者	第2志願者	合格者		
人間発達教育専攻	教育コミュニケーション	昼間クラス	6	5	4	0	1	1	0	0	2	0	
		フレックスクラス	10	1	0	0	2	2	0	0	1	1	
	幼年教育・発達支援	昼間クラス	10	3	2	1	0	1	1	0	0	2	0
		フレックスクラス	10	3	3	0	0	1	1	0	0	4	0
	学校心理・学校健康教育・発達支援	昼間クラス	20	10	7	4	2	3	2	2	1	3	0
		フレックスクラス	20	4	2	1	0	3	2	1	0	4	0
	臨床心理学	昼間クラス	40	75	35	—	—	38	12	—	—	—	—
		フレックスクラス	40	—	—	—	—	12	10	0	0	—	—
	芸術表現系教育	昼間クラス	15	3	3	0	0	5	3	0	0	4	1
		フレックスクラス	15	0	0	0	0	2	2	1	0	3	0
生活・健康・情報系教育	昼間クラス	20	9	7	1	0	6	5	0	0	1	0	
	フレックスクラス	20	3	3	0	0	2	2	1	0	5	1	
障害科	昼間クラス	20	16	16	1	0	10	7	0	0	4	0	
	フレックスクラス	20	—	—	—	—	3	3	0	0	2	1	
発達障害支援実践	昼間クラス	10	8	8	—	—	1	1	—	—	0	0	
	フレックスクラス	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
小 計			145	92	12	2	90	54	5	1	35	4	
教育実践高度化専攻	学 校 経 営	昼間クラス	15	4	4	1	0	1	1	1	0	2	0
		フレックスクラス	15	5	5	0	0	3	3	0	0	6	1
	教育方法・生徒指導マネジメント	昼間クラス	25	12	12	4	0	3	3	1	0	1	0
		フレックスクラス	25	4	4	0	0	1	1	1	1	0	0
	言語系教科マネジメント	昼間クラス	19	5	5	4	0	8	8	1	0	2	0
		フレックスクラス	19	2	2	0	0	2	2	2	0	2	0
	社会系教科マネジメント	昼間クラス	17	8	8	0	0	7	7	1	0	0	2
		フレックスクラス	17	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	理数系教科マネジメント	昼間クラス	20	10	8	2	0	7	4	1	1	1	1
		フレックスクラス	20	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0
小学校教員養成特別（3年制）	昼間クラス	30	11	11	0	0	3	2	1	0	1	0	
	フレックスクラス	30	3	3	0	0	1	1	2	1	0	0	
グローバル化推進教育リーダー	昼間クラス	7	5	5	0	0	4	3	0	0	0	0	
	フレックスクラス	7	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
教育政策リーダ	昼間クラス	7	5	5	—	—	4	4	—	—	11	—	
	フレックスクラス	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
授業実践課題探究	昼間クラス	10	1	1	4	1	1	1	1	1	0	2	
	フレックスクラス	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
小 計			155	78	74	15	1	46	41	12	3	29	
台 計			300	219	166	27	3	136	95	17	4	64	

入学者選抜状況

募集人員		令和7年度															
		8月選抜				11月選抜				3月選抜							
		第1志望		第2志望		第1志望		第2志望		第1志望		第2志望					
		志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者				
修士課程	人間発達教育専攻	教育コミュニケーション	10	7	5	2	0	0	5	1	0	0	4	1	0	6	
		フレックスクラス		3	3	0	0	0	0	1	1	0	0	4	4	0	8
	幼年教育・発達支援	屋間クラス	10	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	1	0	0
		フレックスクラス		6	6	0	0	0	4	0	0	0	2	0	0	12	
	学校心理・学校健康教育・発達支援	屋間クラス	20	14	11	9	2	2	3	0	2	3	0	3	2	0	※16
		フレックスクラス		2	1	0	0	0	4	2	0	0	6	1	0	0	6
	臨床心理学	屋間クラス	40	71	24	—	—	—	34	20	—	—	—	—	—	—	33
		フレックスクラス		—	—	—	—	—	3	3	—	—	—	—	—	—	3
	芸術表現系教育	屋間クラス	15	7	7	0	0	0	5	2	0	0	3	1	0	0	8
		フレックスクラス		0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3
生活・健康・情報系教育	屋間クラス	20	10	9	3	0	0	1	1	0	0	4	3	0	0	13	
	フレックスクラス		4	3	0	0	0	3	2	0	0	2	2	0	0	6	
障害科	屋間クラス	20	12	11	5	0	0	8	8	0	0	5	3	0	0	21	
	フレックスクラス		—	—	—	—	—	6	5	1	0	3	2	1	0	7	
発達障害支援実践	屋間クラス	10	8	8	—	—	—	2	1	—	—	—	0	0	—	9	
	小計	145	145	88	19	2	84	57	7	0	39	21	3	0	151		
専門職学位課程	学校経営	屋間クラス	15	5	5	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	6	
		フレックスクラス		3	3	0	0	0	6	5	0	0	5	0	0	12	
	教育方法・生徒指導マネジメント	屋間クラス	25	13	13	9	2	4	2	2	0	1	1	2	0	※18	
		フレックスクラス		2	2	0	0	3	3	1	0	0	0	1	0	5	
	言語系教科マネジメント	屋間クラス	19	8	5	1	0	6	4	1	0	3	2	0	0	10	
		フレックスクラス		1	1	1	0	0	1	1	0	0	2	0	0	4	
	社会系教科マネジメント	屋間クラス	17	6	6	3	1	4	4	0	0	1	1	0	0	※10	
		フレックスクラス		0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	
	理数系教科マネジメント	屋間クラス	20	11	8	2	1	6	5	0	0	1	1	0	0	※11	
		フレックスクラス		0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	
小学校教員養成特別(3年制)	屋間クラス	30	9	8	1	1	9	8	0	0	1	0	0	0	※15		
	小計	5	3	2	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2		
グローバル化推進教育リーダー	屋間クラス	7	3	3	1	1	3	3	1	1	0	0	0	0	※7		
	フレックスクラス		0	0	0	0	2	2	0	0	2	2	0	0	4		
教育政策リーダー	屋間クラス	7	4	4	—	—	—	5	5	—	—	3	3	—	12		
	フレックスクラス		0	0	0	0	3	3	0	0	1	1	0	0	4		
授業実践課題探究	屋間クラス	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小計	155	68	60	18	6	54	46	6	1	23	21	4	0	122		
合計	300	213	148	37	8	138	103	13	1	62	42	7	0	273			

(備考)

※印は、第2志望による入学者を含みます。

入学者選抜状況

修 士 課 程	区 分	募 集 人 員	令和6年度															
			8 月 選 抜			11 月 選 抜			3 月 選 抜			入 学 者						
			第1志望 志願者	第2志望 志願者	合格者	第1志望 志願者	第2志望 志願者	合格者	第1志望 志願者	第2志望 志願者	合格者							
人間発達教育専攻	教育コミュニケーション	10	2	2	6	2	3	3	1	0	0	3	2	0	0	※	9	
	フレックスクラス		3	3	0	0	2	2	2	2	0	1	1	0	0	0	6	
	幼年教育・発達支援	10	2	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
	フレックスクラス		9	8	0	0	1	1	0	0	0	4	3	0	0	0	12	
	学校心理・学校健康教育・発達支援	20	13	11	7	0	5	4	1	0	1	0	1	0	0	0	13	
	フレックスクラス		3	2	1	0	6	5	0	0	0	2	1	1	0	0	7	
	臨床心理学	40	107	28	—	—	—	37	16	—	—	—	—	—	—	—	32	
	フレックスクラス		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	
	芸術表現系教育	15	8	7	0	0	3	3	0	0	0	2	0	0	0	0	10	
	フレックスクラス		1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	
生活・健康・情報系教育	20	10	10	0	0	3	3	0	0	0	3	3	0	0	0	15		
フレックスクラス		2	2	0	0	1	1	0	0	0	3	3	0	0	0	6		
障害科	20	14	13	2	0	4	4	0	0	0	1	1	0	0	0	17		
フレックスクラス		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5		
発達障害支援実践	10	10	10	—	—	—	2	2	—	—	0	0	—	—	—	11		
小 計		145	184	98	18	2	87	60	5	0	23	16	2	0	0	158		
専門職学位課程	学 校 経 営	15	6	6	0	0	2	2	0	0	2	2	0	0	0	0	10	
	フレックスクラス		7	7	0	0	4	4	0	0	2	2	0	0	0	0	12	
	教育方法・生徒指導マネジメント	25	11	11	4	0	7	5	0	0	1	0	0	0	0	0	16	
	フレックスクラス		1	1	0	0	2	2	0	0	3	3	0	0	0	0	6	
	言語系教科マネジメント	19	8	7	1	1	8	6	0	0	0	3	2	1	0	0	16	
	フレックスクラス		1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	3	
	社会系教科マネジメント	17	7	7	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	7	
	フレックスクラス		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	理数系教科マネジメント	20	10	9	0	0	3	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	11
	フレックスクラス		1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
小学校教員養成特別（3年制）	30	11	9	0	0	8	7	0	0	0	3	3	0	0	0	15		
小学校教員養成特別（2年制）	5	5	4	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	4		
グローバル化推進教育リーダー	7	3	3	1	1	2	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	7	
フレックスクラス		3	3	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	4	
教育政策リーダー	7	3	3	—	—	2	2	—	—	—	8	8	—	—	—	12		
授業実践課題探究	10	1	1	0	0	3	3	0	0	0	1	1	0	0	0	5		
小 計		155	78	73	7	2	42	35	1	1	32	28	1	0	0	128		
合 計		300	262	171	25	4	129	95	6	1	55	44	3	0	0	286		

(備考)

※印は、第2志望による入学者を含みます。
 ※「学校教育コース」は「授業実践課題探究コース」に名称を変更しました。
 ※「学校教育コース」は「授業実践課題探究コース」の「夜間クラス」を「フレックスクラス」に変更しました。
 ※令和6年度入学選抜試験から、全てのコースの「夜間クラス」を「フレックスクラス」の募集を開始しました。
 ※令和6年度入学選抜試験から、障害科学コースの「フレックスクラス」の募集を開始しました。

過去の入学試験問題について

- 1 本学の web サイトに令和 2 年度の入学試験問題（筆記試験）を公開しています。
※令和 3 年度以降の入学試験問題（事前課題含む）は筆記試験を実施していないため非公表です。
<https://www.hyogo-u.ac.jp/>（⇒入試情報・大学院学校教育研究科・過去の入試問題）
- 2 送付はできませんが、本学附属図書館、神戸キャンパスで閲覧することができます。

附属図書館（加東キャンパス） TEL：0795-44-2062
（加東市下久米942-1）

区 分	利用時間
月～金曜日	8：45～20：00
土・日曜日・祝日	10：00～17：00

休館日：年末年始・大学入学共通テスト試験日・学部及び大学院の選抜試験日
上記の他、臨時に休館することがあります。詳細については本学 web ページ
（<https://opac.hyogo-u.ac.jp/drupal/>）でご確認ください。

兵庫教育大学神戸キャンパス TEL：078-642-2500
（神戸市長田区腕塚町5丁目2番1号 新長田キャンパスプラザ6～8階）

区 分	利用時間
月～金曜日	9：00～21：40
土・日曜日・祝日	9：00～17：30

※夏期および年末年始の休業期間中は閲覧できません。

入学試験成績の開示について

令和 9 年度大学院学校教育研究科（修士課程・専門職学位課程）入学者選抜試験の成績について、受験者本人からの請求に限り、開示を行います。

- 1 開示請求の方法
開示を希望する者は、「大学院入学試験成績の開示請求書」の様式を次の本学 Web ページからダウンロードし、所定の手続きを行ってください。
<https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/master/release.php>
- 2 開示請求の期間
次の期間内に**必着**するよう開示請求してください。
[8月選抜] 令和 8 年 9 月 15 日（火）～9 月 28 日（月）
[11月選抜] 令和 8 年 12 月 14 日（月）～12 月 24 日（木）
[2月選抜] 令和 9 年 3 月 23 日（火）～4 月 2 日（金）
- 3 開示内容
志望別の事前課題得点、口述試験得点、総得点、順位
- 4 開示方法
開示内容を記載した書面を、簡易書留郵便で受験者本人あてに送付します。
- 5 その他
・申請に際しては、本学受験票が必要となります。
・不明な事項があれば、入試課へ問い合わせてください。

問い合わせ先

入試に関する事項	入 試 課	0795-44-2067
授業内容及び教員免許状に関する事項	学 務 課	0795-44-2040
奨学制度に関する事項		
（入学金免除・授業料免除及び奨学金）	学生支援課	0795-44-2051
学生寄宿舎等に関する事項	学生支援課	0795-44-2050

web サイトアドレス

<https://www.hyogo-u.ac.jp/>



令和9年度入学 大学院説明会日程

8月選抜に向けて

- 令和8年5月16日(土) …… 説明会(対面/加東キャンパス)
※臨床心理学コースを除く
- 令和8年5月18日(月) …… 入学相談(オンライン)
～令和8年5月22日(金)
- 令和8年5月30日(土) …… 説明会(オンライン)
- 令和8年6月13日(土) …… 説明会(対面/神戸キャンパス)
※臨床心理学コースのみ
- 令和8年6月20日(土) …… 説明会(対面/神戸キャンパス)
※臨床心理学コースを除く

11月選抜に向けて

- 令和8年8月28日(金) …… 説明会(オンライン)
- 令和8年9月5日(土) …… 説明会(オンライン)
※臨床心理学コースのみ
- 令和8年9月7日(月) …… 入学相談(オンライン)
～令和8年9月11日(金)
- 令和8年9月19日(土) …… 説明会(対面/加東キャンパス)
※臨床心理学コースを除く

2月選抜に向けて

- 令和8年12月5日(土) …… 説明会(オンライン)
- 令和8年12月7日(月) …… 入学相談(オンライン)
～令和8年12月11日(金)

※気象警報等が発令された場合や不測の事態等により、説明会を中止又は変更する場合があります。
最新の開催状況については、web サイト (<https://www.hyogo-u.ac.jp/>) でご確認ください。

説明会は、教職員との個別相談、在学生の体験談等により構成しています。
詳細は、web サイト (<https://www.hyogo-u.ac.jp/>) をご覧ください。



HYOGO UNIVERSITY OF
TEACHER EDUCATION

国立大学法人
兵庫教育大学

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1
<https://www.hyogo-u.ac.jp/>
電話：0795-44-2067 (入試課)
E-mail：office-nyushi-t@ml.hyogo-u.ac.jp
(入試課)

兵庫教育大学
web サイト

